

# 蓄熱用チェックターミナル取扱説明書

⊘ 禁止 北陸電力送配電株式会社以外の設備には使用しないでください。

## 取付方法

1. 計器ボックス内の木板またはアクリル板にビス(M5×40mm)、ワッシャ、スプリングワッシャ、ナットを使って取り付けてください。

### ⚠ 注意

蓋の表示を確認して、計器側と変成器側を間違いないように取付けてください。

2. 7色の色別電線を使用してWHMとチェックターミナルを接続してください。  
チェックターミナルの電線接続端子に、先端半田又はMCキャップ処理した電線を入れ、ドライバーで締付けてください。

3. 電線接続端子の構造は第2図のようになっています。  
端子ネジはゆるめてありますので  
**そのまま電線を入れてください。**

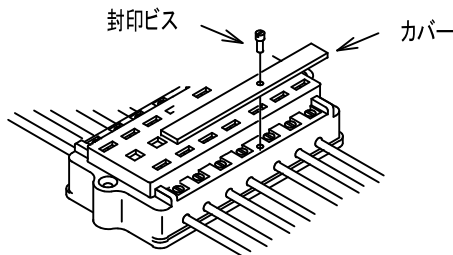
### ⊘ 禁止

**端子ネジをゆるめないでください。**

更に端子ネジをゆるめ過ぎますと電線が入りません。

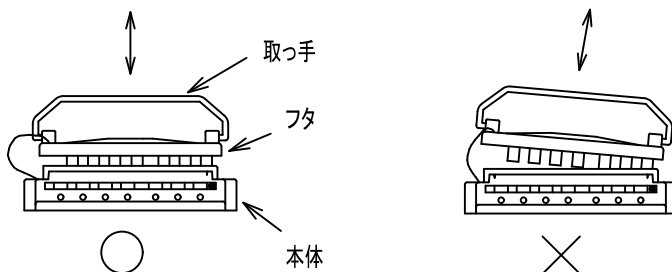
4. 端子ネジ締付け後、電線を引っ張り  
**接続を確認してください。**

5. 電線を接続した後、カバー(透明アクリル)を封印ビスで留めてください。

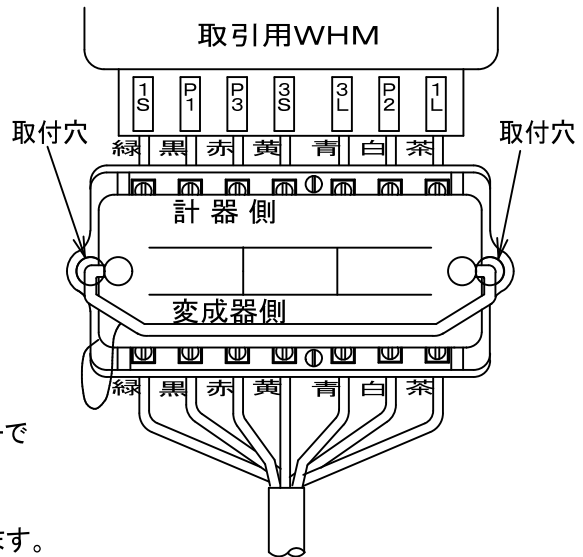


### ⚠ 注意

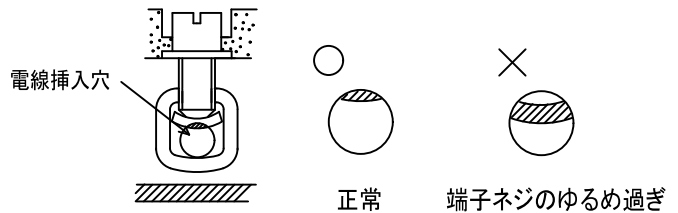
フタの開閉は取っ手を両手で持ち、必ず水平、垂直に行ってください。



(第1図)

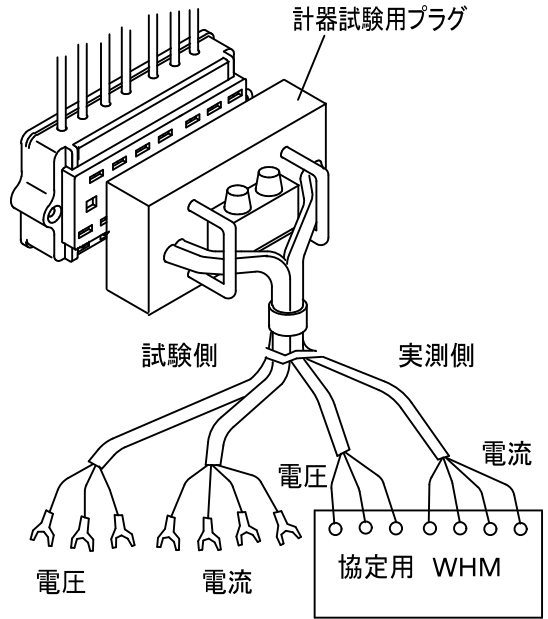


(第2図)



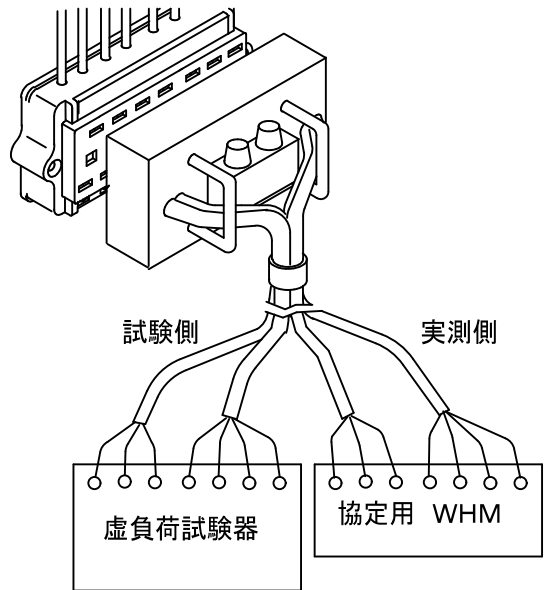
## 計器取替時の協定電力量の測定方法

1. 計器試験用プラグのコード先端(実測側)に協定用WHMを接続し、チェックターミナルにプラグを挿入してください。  
(取引用WHMの回転停止、協定用WHMの回転開始を確認してください。)
2. 試験側電圧端子は端末絶縁キャップをしてください。
3. 計器取替えが完了しましたら、チェックターミナルの蓋を水平に冠装してください。  
(プラグを抜いたとき、取引用WHMの回転開始を確認してください。)



## 計器の保守点検試験方法

1. 計器試験用プラグのコードの先端をそれぞれ接続します。  
 実測側 —— 協定用WHM  
 試験側 —— 虚負荷試験器
2. 虚負荷試験器の電源を切って、チェックターミナルにプラグを挿入してください。  
(取引用WHMの回転を確認しながら挿入してください。)
3. 試験が終了したらチェックターミナルからプラグを抜いて、蓋を冠装してください。  
(取引用WHMの回転を確認しながら抜いてください。)



### ⚠ 注意

チェックターミナルは必ずフタを装着してください。

本品は、密閉構造ではありませんので、ホコリ・異物などが接点部分に入ると、変成器側と計器側の導通を損なうおそれがあります。

### ● 強制

通電中、チェックターミナルの フタを外す際は、計器の回転、CT・PTの状態に注意しながら行ってください。

## 高千穂産業株式会社

西日本支社(大阪営業所)  
名古屋営業所

〒550-0012  
〒482-0041

大阪市西区立売堀2-1-11  
愛知県岩倉市東町江東10-1

TEL(06) 6536-1730  
TEL(0587) 37-7771

岩倉工場

〒482-0041

愛知県岩倉市東町江東10-1

TEL(0587) 37-7771